

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立飯能高等学校)

W05

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域から愛され信頼される活力ある学校 ・高い志を抱き進路の希望を実現する学校 |
|--------|--|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ステップアップクラス編成を中心に、学力向上と進路実現を目指す 2 人間としての在り方生き方教育を進め、高い志を育成し、自己実現を目指す 3 開かれた学校として情報を発信し、地域に根ざした魅力ある学校を目指す |
|------|---|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|-----|
| 出席者 | 学校関係者 | 7名 |
| | 生徒 | 3名 |
| | 事務局(教職員) | 11名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | |
|-------------|--|-------------------------------|--|--|--|-----|--|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (3 月 9 日 現 在) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | <p>○現状 学校全体での少人数・習熟度別授業等への取り組みにより、熱心に授業に取り組む生徒が増えてきている。</p> <p>○課題 改善したステップアップクラス編成を生かし、大学進学希望の生徒に対応した授業と適切な評価が行えるように取り組む必要がある。</p> | 生徒一人一人の進路希望を支援できる学校組織づくりに取り組む | <ol style="list-style-type: none"> ①ステップアップクラス編成改善の評価・検証を行う。 ②学校全体で英語検定に取り組み、受験希望者を増加させる。 ③アドバンスクラスの大学進学希望者については模擬試験や英語検定を受検するよう指導していく。 ④年次研修者を中心として、アクティブラーニング等に取り組む。 ⑤通路等の学習環境の整備をすすめる。 | <ol style="list-style-type: none"> ①次年度へ向けた評価・検証を組織的に行えたか。 ②学校全体で英語科と学年等に協力し、受験希望者が増加したか。 ③④授業アンケートの授業に関する項目に対し70%以上が肯定的な回答をしているか。 ⑤校内で学習する生徒が増加したか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の支援について、組織的に取り組めた。 ①企画委員会にて評価・授業等について検証を行っている。 ②受験者数は688名で合計数は昨年より54名増加した。複数の準1級、2級合格に加え、1級合格者がでた。 ③④各学年で肯定的な回答が70%以上の科目数の割合は、1年9/11,2年スタンダード6/11アドバンス10/11,3年Aコース12/15,3年Bコース12/16である。 ⑤休み時間、放課後に教員の指導のもと、勉強している生徒の姿が見られる。 | A | <p>ステップアップクラス編成の課題を検証し、生徒の実態に合わせた改善を引き続き行う必要がある。</p> <p>勉強の壁に直面したとき、どうすれば超えられるかを考え、実行できる力を身につけさせたい。従来の方法に加え、生徒を活動させる視点を持った授業改善が必要であり、アクティブラーニングの研究はその一つである。</p> <p>また、新しくなる学習指導要領に基づいた本校の教育課程を検討する必要がある。</p> |
| 2 | <p>○現状 授業に加え、榛の木祭(体育・文化の部)、部活動等の活動を通し、将来の目標に向けた学校生活に取り組んでいる。</p> <p>○課題 学校全体での組織的な進路指導の継続と、共通理解のもと、生徒指導を全教職員で取り組む必要がある。</p> | 変化のある社会に対応できる力を付ける支援に取り組む | <ol style="list-style-type: none"> ①統一した基準による生徒指導を全教職員で行う。 ②面談等から生徒の状況を把握し必要に応じ、関係機関につなげる。 ③学力診断のためのテストやシステムを活用し、個に応じた進路指導を行う。 ④部活動の継続を奨励し活性化を進める | <ol style="list-style-type: none"> ①生徒指導件数が前年より少なくなったか。 ②カウンセリングが必要な生徒をSC・SSW等の外部機関につなげられたか。 ③生徒一人一人の適性に合った進路選択が実現したか。 ④9月の時点での部活動加入率が70%を超えたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会へ対応する力を付ける支援に取り組めた。 ①前年度と同数だった。 ②組織的な生徒相談体制が機能し、SC・SSWの有効活用ができた。 ③進路指導部と学年が協力し、生徒の希望に沿った進路を実現した。 ④9月末の加入状況は全体が73.9%である。 | A | <p>社会は変化しても、時間を守る、身の回りの整頓、礼儀正しい、と言うようなマナーの基本は変わらない。</p> <p>その基本を身につけさせると共に、それぞれの進路実現に向けた活動を把握し、支援していく組織作りが必要である。</p> <p>導入した進路指導ツールの理解を深め、活用を進める必要がある。</p> |
| 3 | <p>○現状 関係機関との連携の中で、飯高生の様子が年々よくなってきていると評価を得ている。</p> <p>○課題 地域に根ざした学校として、関係機関との連携をさらに深め、信頼の輪を広げられるよう取り組む。情報発信と信頼関係の中から本校を希望する中学生を増加させたい。</p> | 地域との連携事業を通し、学校の魅力発信に取り組む | <ol style="list-style-type: none"> ①中学生のニーズに合った学校説明会の時期・内容を検討し、実施する。 ②管理職及び中高連携委員を中心に中学校以外への生徒募集を行う。 ③地域の要請に応え、地域の行事に参加する。 ④ホームページで適時学校情報を発信する。 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会の参加者が増加し、入試の倍率が1.20となったか。 ②管理職や中高連携委員を中心とした塾等への生徒募集が行われたか。 ③地域への行事に参加できたか。 ④ホームページを70回以上更新できたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・学校の魅力発信に取り組めた。 ①学校説明会の内容が工夫され、参加者は昨年に比べ69組増加した。12/15現在の希望状況は1.08倍である。 ②夏季休業中を中心に塾訪問すると共に、外部の学校説明会に広域的に参加した。 ③陸上部やチアダンス部が部活動単位で参加。地元小学校の算数教室に2学年が中心で参加。個人が商工会議所主催ボランティアへ参加。 ④年間70回以上更新できた。 | A | <p>飯高に対する期待は、卒業生のみならず地域の方からも感じることが多い</p> <p>地域へのボランティア活動に参加する機会を増やし、生徒の力を伸ばしていきたい。</p> <p>また、保護者アンケートではホームページの更新を求める声が多い。併せて、生徒募集においてもホームページは本校の魅力発信という面で有効な手段であることを踏まえ、組織的に更新を推進したい。</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 学校関係者評価 | 実施日 平成30年2月16日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップクラス編成を進めることにより、生徒・教員の意識に変化が生じて良い効果が出ているようだ。 ・授業を参観した。年々取り組み状況は良くなっているようだ。アンケート調査だけでなく、いろいろな場面を公開し、学校の取り組みを広めてフィードバックしていくと良い ・家庭学習をしない生徒がいるようだ。家庭学習をさせる方法を中学校とも連携し、考えていく必要があるのではないかと。 ・達成度Aは妥当である。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導は引き続き粘り強く、校外でのマナーも含めて指導をしていただきたい。 ・生徒に自信を持たせることが大切である。外からの意見で、自分たちの良い所に気づくこともある。教員からも声をかけて自信を持たせていただきたい。 ・達成度Aは妥当である。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に算数や琴の指導でボランティアに来てもらった。やってもらったことは保護者にも伝わっていく。何人かの生徒の活動でも、飯高が取り組んでいるというように見られる。生徒会などでも盛り上げてもらいたい。 ・商工会議所の広報に情報を協定の範囲内で載せることができる。是非利用していただきたい。 ・達成度Aは妥当である。 |